

平成27年度 第5回

三重県伊勢志摩サミット推進本部会議

事項書

日時 平成27年9月25日(金)

14:30~14:40

場所 プレゼンテーションルーム

1. 事項

(1) 県産食材等の利用促進に向けた取組について【資料1】

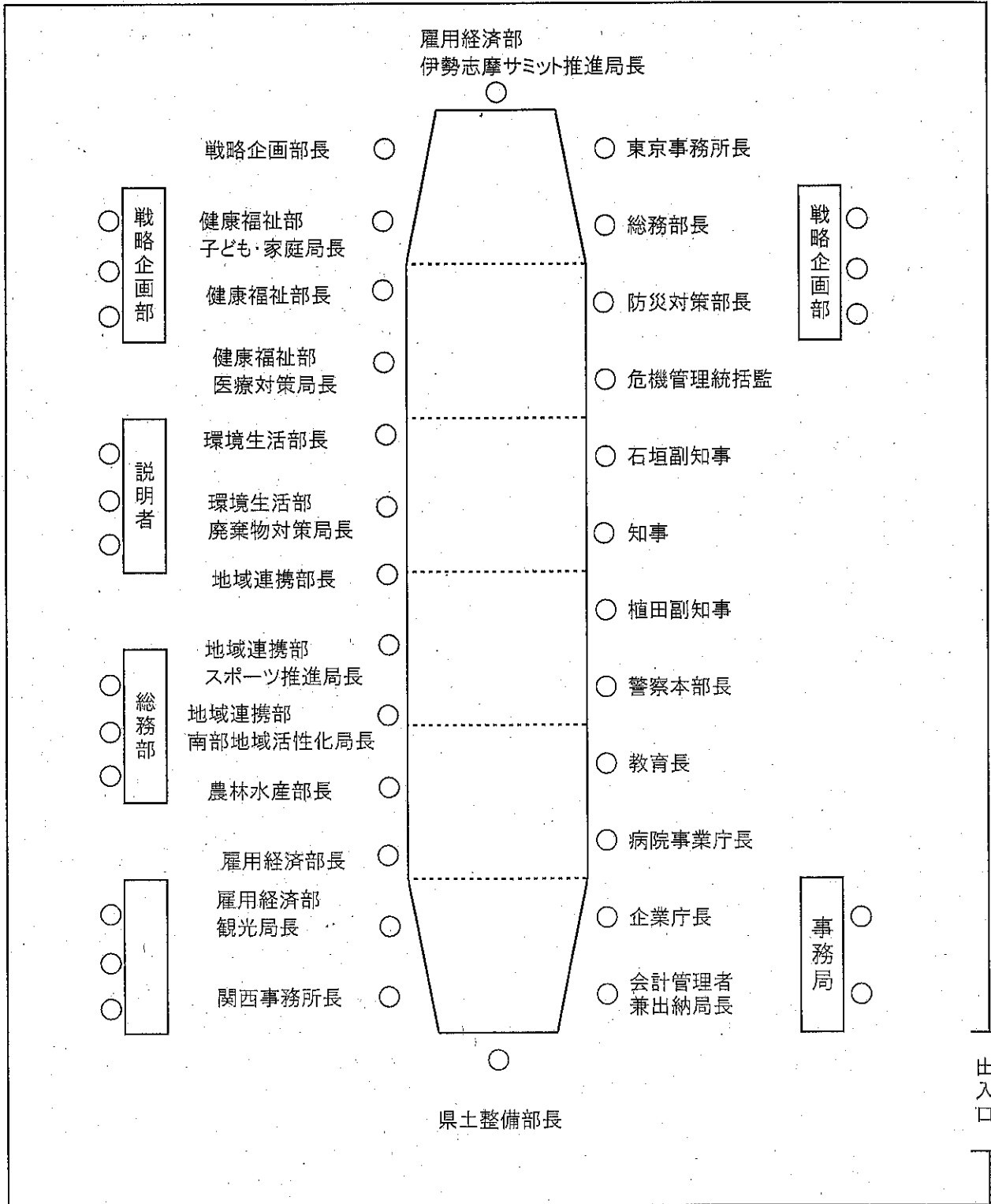
(2) 東海三県一市知事市長会議の報告について【資料2】

【配布資料】

- ・資料1 「県産食材の利用促進に向けた取組(概略図)」
- ・資料2 「平成27年度東海三県一市知事市長会議の開催結果について」

平成27年度第5回三重県伊勢志摩サミット推進本部会議 座席表

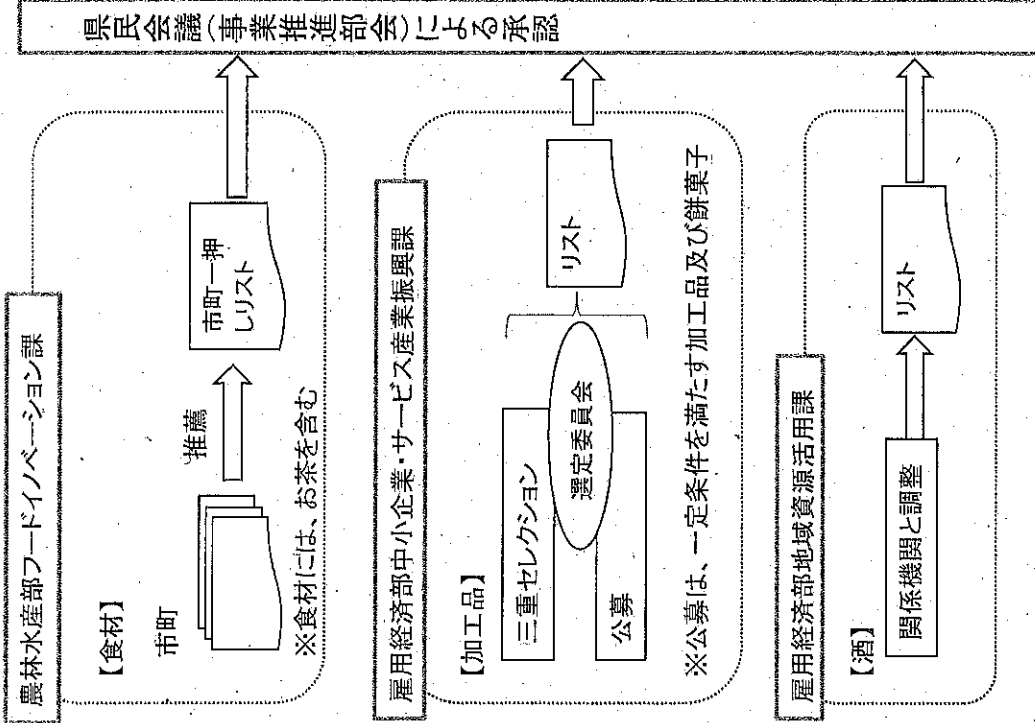
プレゼンテーションルーム



出入口

県産食材の利用促進に向けた取組(概略図)

1 質の高い県産食材(情報発信による今後の販路拡大)



県民会議(事業推進部会)による承認

提案

＜ターゲット＞	＜シチュエーション＞	＜時期＞	＜提案先(主体)＞
首脳・配偶者	食事	5月26日、27日	外務省、ホテル
シエルパ	食事	5月26日、27日	外務省、ホテル
配偶者	配偶者プログラム (食事・お菓子)	5月26日、27日	外務省
各国代表団	食事	5月中旬～5月下旬	ホテル
各国先遣隊	歓迎レセプション	1月頃～5月	県民会議
報道機関	国際メディアセンター ・食事の提供 ・試食・試飲 プレスツアー ・夕食会等(※) (※)行程における食材の紹介もあり	5月下旬 8月末～開催後	外務省、提供事業者 県民会議 外務省、県民会議、 その他主体
その他	レセプション等	10月～5月頃	適宜

資料1

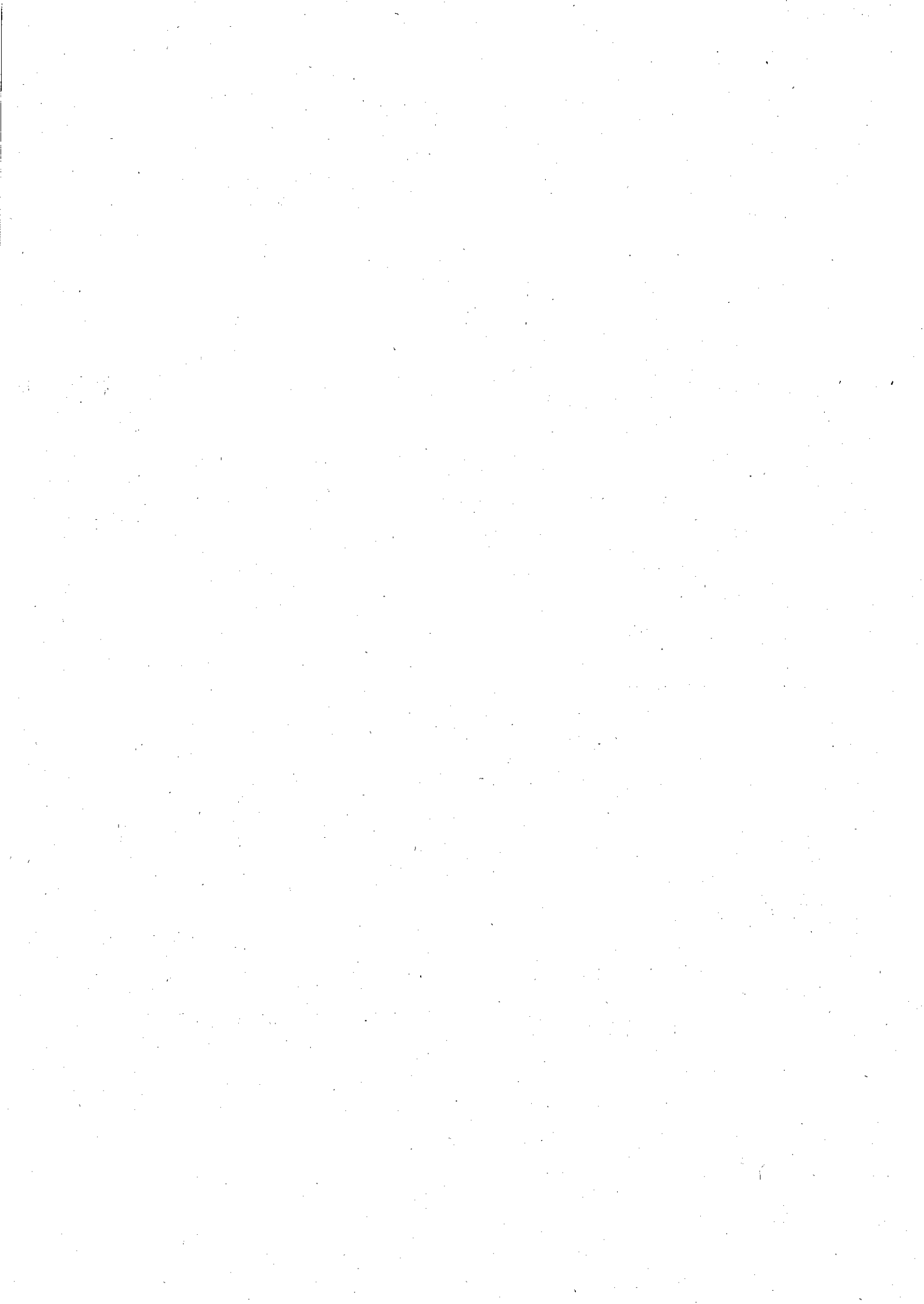
平成27年9月25日
伊勢志摩サミット推進局

※外務省に対して10月に提案する予定

2 その他県産食材(サミット時期における消費拡大)

○弁当供給センター
弁当供給業務事業者の公募の際、県産食材の活用を評価項目とする(詳細な仕掛けは別途検討)により、消費拡大を図る。また、その後の販路拡大にもつなげる。

北海道 総供給数:約51.7万食、ピーク時:約37,000食/日



平成 27 年 9 月 25 日

サミット総務課

平成 27 年度東海三県一市知事市長会議の開催結果について

1 要旨

9月9日(水)、岐阜県多治見市において「東海三県一市知事市長会議」が開催され、「伊勢志摩サミットについて」を議題に、行政の役割や3県1市の連携取組について協議し、今後、情報共有や取組について話し合う場として「東海三県一市担当課長会議」を設置することとなりました。

また、広域連携による海外誘客の強化、交通基盤の整備による東海エリアの産業・観光等の振興、陶磁器産地としての連携等について議論が行われ、今後、これらについて3県1市が連携して取り組んでいくこととなりました。

2 概要

(1) 伊勢志摩サミットについて

鈴木知事から、警備体制の強化に向けた2県1市への協力依頼や、共同で実施していきたい国等への要望、3県1市の連携取組案について説明を行った後、各県市の対応等について意見交換が行われました。

今後、協議・調整の場として「東海三県一市担当課長会議」を設置し、情報共有を図り取組を進めていくこととなりました。

(主な発言)

鈴木知事：警備等の要員確保や、空港や主要駅の使用・規制等について協力をお願いしたい。

国に対し、警備や社会資本整備等への財政的支援や、東海地方のものづくりをPRする施設の設置、国際会議の誘致を提言していくほか、3県1市が連携し、三重テラスを活用したイベント等を実施してはどうか。

古田知事：国との協力関係の構築については三重県が窓口となり、国の動向や進捗を迅速に情報提供してほしい。また、国に対して地元の想いを伝えていただきたい。

大村知事：中部国際空港のある愛知県はゲートウェイの役割を担うので、9月11日に庁内にサミット対策室を開設し、警備やサミット関係者の受入れ、地域のPRを検討していく。課題を洗い出し、3県1市でしっかり連携したい。

河村市長：名古屋駅は各地域への乗り換えの場所となる。名古屋城などの地域資源について、海外の方に印象づけたい。

(2) 広域連携による海外誘客の強化について

海外誘客の拡大に向けて、広域観光ルートの実現や交通事業者と連携した取組について、意見交換を行い、今後、集中的に取り組む内容について、新たに設置される伊勢志摩サミットの担当課長会議の中で検討していくこととなりました。

(主な発言)

鈴木知事：広域観光ルートの充実に関し、長期滞在につながる体験型プログラムを取り入れてはどうか。また、個人旅行者の地域周遊には、中部国際空港からの二次交通の充実が重要であることから、昇龍道周遊パスなどの商品造成を交通事業者も入れて検討してはどうか。多国籍の方の受入を促進するため、ピクトグラムなどの非言語化について、連携して研究してはどうか。

古田知事：訪日外国人の観光客が急速に増加しており、3県1市は、インバウンドの玄関口であるとともに、産業観光等の世界的な観光資源があることから、広域観光を強化していきたい。

1 三重県の取組 (1) 伊勢志摩サミットの成功に向けて

美はそれ、
もたれ三重
なんぞす！



2016年5月26日・27日
伊勢志摩サミット開催！！

伊勢志摩は、「日本の美しい自然」

「豊かな文化、伝統」

「日本のふるさとの情景」

「大小の島々、美しい入り江」

「日本の精神性」

に触れていただけの場所です。
三重県ならではの「おもてなし」で、
世界の皆様をお迎えいたします。

三重県のねらい

- サミットを安全・安心に開催
- 伊勢志摩・三重県の知名度向上や国際観光地としてのレベルアップのみならず、地域の総合力向上につなげる
- サミット開催による効果を県全体に波及させる
- サミット開催を一過性のものとせず、次世代にサミットの資産を残す取組を行う

推進体制

伊勢志摩サミット三重県民会議



- ・ 官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立
- ・ 産業・経済、観光、教育、文化、国際交流等
- ・ 会員105団体(9/9現在)

三重県伊勢志摩サミット推進本部



- ・ 庁内横断組織として設置
- ・ 推進本部のもとに、防災・危機対策委員会、保健・医療対策委員会を設置

1 三重県の取組 (2) 4つの柱に基づく事業展開

実はこれ、
さんさん三重
なんです！

県民会議を中心として、県内市町や関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、地域の総合力の向上につなげるため、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」を柱に、サミット開催に向けた全県的な取組を展開

開催支援

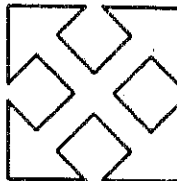
- ・警備の充実
- ・配偶者プログラム
- ・公式行事に伴う歓迎交流 ほか



洞爺湖サミット
歓迎セレブション

4 配偶者プログラム
三重県の魅力が盛り込まれるよう、国に提案予定

4つの柱



おもてなし

- ・サミットフォーラム
- ・花いっぱい運動
- ・クリーンアップ運動 ほか
- ・接遇研修



女将さんの接遇研修

イベントの実施、接遇研修の開催等、物心両面からおもてなしを向上

明日へつなぐ

- ・ジュニアサミットにおける高校生等の国際交流 ほか



中山外務副大臣にジュニアサミット
三重県開催を要望 (H27.8.5)

ジュニアサミット
サミットで取り上げられる
国際問題を子どもたちの
視点で議論

三重の発信

- ・プレスツアーの開催 ほか
- ・シンポルマークの制定



プレスツアー (H27.8.27)

各種イベント等、あらゆる
機会を通じた情報発信

首脳会議の開催に向けた国の動き

1 組織・体制

- ①内閣官房
 - 「伊勢志摩サミット準備会議」(7/6)
 - ・ 広報部会 (7/8)
 - ・ 警備対策部会
- 「伊勢志摩サミットロゴマーク選考会」
 - ・ 審査委員会懇談会 (9/2)
- ②外務省
 - 「伊勢志摩サミット準備事務局」(6/12)
- ③警察庁
 - 「伊勢志摩サミット等警備対策委員会」(6/12)
- ④消防庁
 - 「消防庁伊勢志摩サミット等対策準備本部」(6/15)
- ⑤国土交通省 三重県内6事務所
 - 「伊勢志摩サミット支援室」(7/24)
- ⑥東海財務局
 - 「伊勢志摩サミット協力連携室」(7/27)
- ⑦名古屋税関
 - 「名古屋税関伊勢志摩サミット対策本部」(6/24)

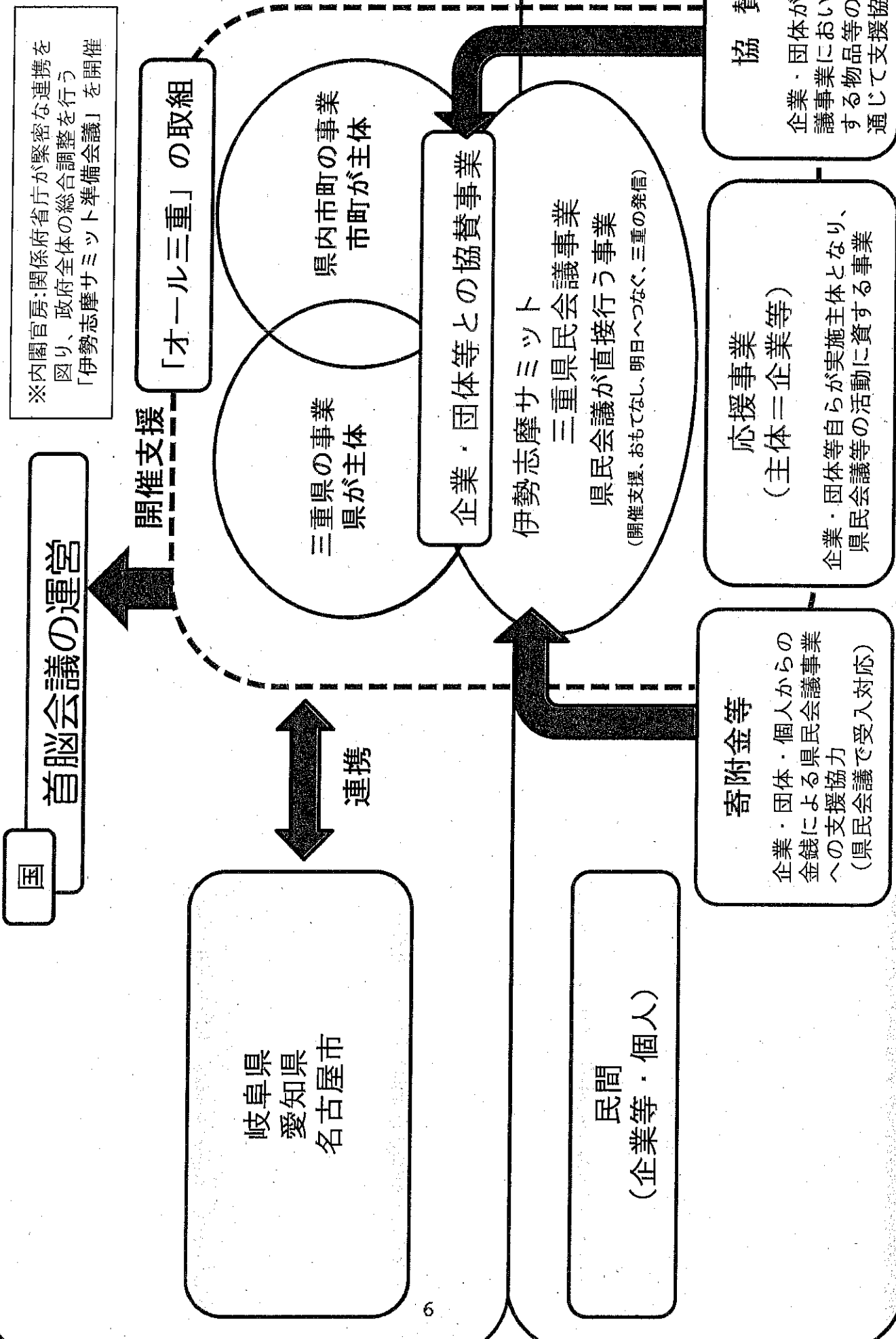
2 主な取組

- ①警備
 - ・ 航空法の改正
 - ・ 小型無人飛行機の飛行の禁止に関する法律
- ②予算要求(サミット関連施策のH28年度概算要求)
 - ・ 外務省(会議運営等) 176.3億円
 - 参考: 北海道洞爺湖サミットでは255億円
(H19年度予算、補正予算、H20年度当初予算の合計)
 - ・ 警察庁(警備の装備等) 156.6億円
 - ・ 海上保安庁(警備機材等) 11.8億円
 - ・ 総務省(消防・救急体制確保) 4.4億円
 - ・ 公安調査庁(テロ関係情報収集) 0.6億円

など

2 東海三県一市の取組 (2) 官民の役割と連携

家はそれぞれ、
みんな三重
びんごす!



2 東海三県一市の取組 (3) 行政としての取組

東海三県
一市
は
これ
を
支
え
て
ま
い
ら
せ
て
ま
い
ら
せ
ま
す

構成自治体への協力依頼

※現在想定される項目であり、今後増える可能性あり

- 警察、消防、医療等の要員確保、体制整備、警備等の具体的活動の実施 など
- 中部国際空港や主要駅の使用及び関連規制、公共交通機関の利用に関する協力 など

共同・連携事業

(1) 国等への提言・要望

- サミット開催にあたって必要となる警備、消防
社会資本整備等に関する財政支援
(今後のサミット開催におけるスキーム確立)

- 次世代自動車やMRJ等の
東海地方のものづくりの最新
技術をPRする拠点の設置
(国際メディアセンター内に要望)

- サミットテーマや東海地方の特性に関連する
国際会議の誘致 (例：WAW!、ビジネスサミット)

洞爺湖サミットにおける
ゼロエミッションハウス

(2) 構成自治体で連携した取組

○出迎え、イベント

中部国際空港や主要駅でのカウンタダウン
ボードやインフォメーションセンターの
設置や歓迎行事など

○周遊・滞在型の旅行商品の開発

公式行事等に用いたコンテンツを活かした旅行商品の共同開発

○他の関係閣僚会合開催地 (富山、長野等) との連携

○MICE誘致に向けた取組

MICE博への出展等

- 東京における東海三県一市唯一の
情報発信拠点「三重テラス」を
活用したプロモーションイベント



セントレア観光案内所



IMEXAmerica2014
(MICE専門見本市)

実践及び情報共有

民間に期待すること

東海三県一市担当課長会議の設置を提案

- ・行政の取組に呼応し、サミット開催という千載一遇の
チャンスを活かした民間団体・企業等による取組を期待
- ・官民あげた取組により、東海地方の総合力アップ!

